



東京都下
ドッグダンスクラブ

第1回東京都下ドッグダンスクラブ競技大会

開催日：5月24日（日）

受付：午前7時 / 午前7時30分馴致開始

競技開始：午前9時（予定）

審査員長：クリスティーヌ・エリザベート・ベルツェシ（ハンガリー）

競技種目：フリースタイル、ヒールワーク・トゥ・ミュージック（HTM）

競技クラス：ノービス・インターメディエイト・アドバンスド

会場：山梨県・ドッグリゾートWoo f インドアラン

<http://www.dogresortwoof.jp/>



出陳料：フリースタイル、HTM………10,000円

※別途、昼食代（お弁当）費用1個1,360円がかかります。

申込開始日：2月20日（金）20時から

※クラブ会員先行申し込み 2月18日（水）20時から

申込締切日：2月27日（金）20時まで

ヒートにより欠場となった場合でも
出陳料のご返金はいたしませんので
あらかじめご承知おきください。

出陳資格：出陳者及びハンドラーがJKC会員であること。出陳犬がJKC血統証明書登録があること。
血統証明書登録がない場合は個体識別登録（マイクロチップ／タトゥー）を実施していること。

<定員>

60頭までの申し込みといたします。

<申し込み方法>

下記の専用サイトよりお申し込み下さい。

<https://tetsukohs.wixsite.com/aozora-dogcircle/dogdance3dayevent>

※お申し込み時に「JKC会員番号」の入力が必要となりますのでご準備下さい。

※事前に2P目以降のJKC競技規程を必ずお読みください。

競技規程詳細は右記JKCホームページからもご覧頂けます。（<https://www.jkc.or.jp/news/21426>）

※競技クラスごとに演技時間の下限が決まっていますのでご注意ください。

※出陳申込後のクラス変更及びキャンセルはご遠慮ください。

主催：東京都下ドッグダンスクラブ

後援：一般社団法人ジャパンケネルクラブ（JKC）

JKC 東京ブロック協議会 / JKC 東京都下クラブ連合会

問合せ先：〒192-0091 東京都八王子市打越町 1193-1-101 SunnySideDogs 内

東京都下ドッグダンスクラブ

TEL：070-5010-7248

出陳資格（詳細）

- (1)ノービス（1度）、インターミディエイト（2度）、アドバンスド（3度）のクラスは、本会会員が所有する生後 18 カ月 1 日以上（2024 年 11 月 23 日及びそれ以前に生まれた犬）の本会登録犬（アペンディクス登録犬を含む）及び本会の非公認犬種・本会の非公認団体登録犬・交雑犬となります。
- (2)本会の非公認犬種・本会の非公認団体登録犬・交雑犬は、申込締切日までにマイクロチップ装着又はタトゥーを実施していなければなりません。
- 競技会申込書には、該当箇所にマイクロチップ番号又はタトゥー番号をご記入ください。**
- 本会の非公認犬種につきましては、目録上「交雑犬」の表記となります。
- (3)本会国内公認団体の登録犬につきましては、事前に初代アペンディクス登録が完了したもののみとなります。よって、初代アペンディクス登録同時の出陳申込はできません。
- (4)次に該当する犬は出陳することはできません。
- ①伝染病・皮膚病など健康上の危惧のある犬。
 - ②テーピングされている犬。
 - ③縫合されている犬。
 - ④包帯をしている犬。
 - ⑤妊娠中の犬、競技会開催日前 75 日以内に出産した犬。
 - ⑥発情期の牝犬。
- これは、会場であるドッグリゾート Woof が発情犬の入場が不可であるため。
- (5)避妊や去勢された犬は、出陳することができます。

ハンドラー

- ①本会のクラブ会員
 - ②本会クラブ会員の家族（同居の血縁者）
- この場合の出陳犬はその家族名義の所有犬に限ります。

重複出陳

- ①フリースタイルとHTMに重複出陳することができます。
- その際、両競技種目の競技クラスは問いません。

審査と進行

日程は下記の通りとなります。

5 月 24 日（日）：フリースタイル／HTM

競技構成

<HTM>

- (1)ルーティンは、最低75%以上の脚側と25%以下のフリースタイルの動きで構成されていること。犬はルーティンの最中、ハンドラーから 2 m 以上離れてはならない。
- (2)理想的なヒールワーク・トゥ・ミュージック・ポジションにおいては、犬とハンドラーの距離は一定であり、15cm 以下が望ましい。犬またはハンドラーは、お互いの動きを制限してはならない。犬は常にハンドラーのペースや指示に順応しなければならない。全てのポジションにおいて、犬

は平行を維持し、横方向への動きを除き、常に単線の動きであることが望ましい。犬とハンドラー間の距離が50cmを超えた場合は、フリースタイルと見なされる。犬の動きが遅れたり、犬が先に出たりするのは望ましくない。距離はハンドラーの最も近い部分から犬の最も近い部分で計測する。犬は四脚で歩かなければならない。犬はハンドラーのどちら側での作業においても、平等にくつろいでいなければならない。犬は自然体で動くべきである。

- (3)ルーティンの難易度はポジションの数だけではなく、動く方向やペース変更の多様性にも関係する。ポジションの変更は、犬が自らポジションを判断する能力を示す。
- (4)ルーティン構成に際して、次のとおりとする。

①ノービス（1度）。

1 から 3 ポジション、1 から 2 方向が望ましい。常歩・速歩・緩歩の歩度変換を行うことを推奨する。

②インターミディエイト（2度）。

3 から 5 ポジション、2 から 3 方向が望ましい。常歩・速歩・緩歩の歩度変換を行うことを推奨する。

③アドバンスド（3度）。

6 から 8 ポジション、そのうちいくつかは 4 方向（前後左右）が望ましい。常歩・速歩・緩歩の歩度変換を行うことを推奨する。

- (5)ポジションは、次のとおりとする。なお、ハンドラーは以下の項目から自身のポジションを選択する。

①犬の右肩がハンドラーの左足の横に平行に位置する（左側）。

②犬の左肩がハンドラーの右足の横に平行に位置する（右側）。

③犬の右肩がハンドラーの右足に平行して位置する（逆向き右側）。

④犬の左肩がハンドラーの左足に平行して位置する（逆向き左側）。

⑤犬の右側がハンドラーの前に来るように、横向きで立つ。

犬の右肩はハンドラーの右足に位置する。これはハンドラーの右足の内側、外側どちらに位置していても良い。

⑥犬の左側がハンドラーの前に来るように、横向きで立つ。

犬の左肩はハンドラーの左足に位置する。これはハンドラーの左足の内側、外側どちらに位置していても良い。

⑦犬はハンドラーの後ろに犬の右肩がハンドラーの左足に来るように立つ。

⑧犬はハンドラーの後ろに犬の左肩がハンドラーの右足に来るように立つ。

⑨犬はハンドラーの両足の間に位置し、ハンドラーと同じ方向を向く。犬の肩はハンドラーの足に位置する。

⑩犬はハンドラーの両足の間に位置し、ハンドラーと反対の方向を向く。犬の肩はハンドラーの足に位置する。

<フリースタイル>

- (1)ルーティンは、75%以上のフリースタイルの動き及び25%以下の脚側で構成されていること。犬の健康を脅かす動き以外、全ての動きが認められる。

(2)理想的なフリースタイルは、様々な動きのタイプの多様なバラエティーで構成されている。動きは音楽の変化に合わせて流れるようにルーティンに組み込まれるべきである。

- (3)ルーティン構成に際して、次のとおりとする。

- ①ノービス（1度）。
有害とみなされないムーヴであれば、すべて許可される。
- ②インターミディエイト（2度）。
有害とみなされないムーヴであれば、すべて許可される。
- ③アドバンスド（3度）。
有害とみなされないムーヴであれば、すべて許可される。
主にトリックで構成され、ディスタンスワークが奨励される。

ルーティンタイム

ルーティンタイムは次のとおりとする。

- ①ノービス（1度）…………… 1分30秒以上 4分以内。
- ②インターミディエイト（2度）… 2分30秒以上 4分以内。
- ③アドバンスド（3度）…………… 3分15秒以上 4分以内。

犬のアクセサリー及び小道具

(1)犬のアクセサリー及び小道具は、次のとおりとする。

- ①リング内では1つの首輪のみが認められるが、首輪無しでパフォーマンスすることが歓迎される。首輪はデコレーションされていても良いが、首輪のサイズは犬の肩を超えるものであってはならない。尖った首輪、エレクトリック・カラー及び他の同様の抑制装置は禁止とする。この規制は、競技会開始から終了まで適用される。
 - ②ハーネス、コート、マズル等は必要であればリングの外で着用しても良い。ただし、マズルを使用する場合は、犬が水を飲んだり自由に息をしたりすることができるような物でなければならない。
 - ③長毛の犬が頭部にゴムのヘアバンドを使用することは、犬の視界が良くなるため認められる。ヘアバンドは、犬の視界を向上することであるため、装飾としてみなされるべきでない。
 - ④グリッターや毛髪染料で犬をデコレーションすることは禁止とする。
 - ⑤犬に服を着用させることは禁止とする。
- (2)ハンドラーが小道具を自身で設置したり撤去しない場合、ヘルパーを用意することができる。
- (3)リングで使用される各小道具は、ルーティンのパフォーマンスには不可欠なものであり、犬によって使用されなければならない。
- (4)小道具もしくはハンドラーのコスチュームは決して犬を見劣りさせるようなものであってはならない。
- (5)小道具やアクセサリーの準備及び撤去は、合計3分間（2回×1.5分間）以内とする。

リード

リング内でのリードの使用は、認められない。リードは、リングに入場する前にリングスチュワードに渡す。

指示

指示は声符、ジェスチャー及び体符で与えられる。犬とハン

ドラーがルーティンを通し、チームワークの調和を維持すれば指示の回数に制限はない。

リングへの入退場

リングへの入退場時は、次のとおりとする。

- ①ハンドラーは犬を自身の腕に抱きかかえることができる。ただし、小道具で犬を持ち運ぶことは許可されない。
- ②ルーティン開始前に犬を地面に降ろし、犬は自発的にスタート位置につかなければならない。
- ③ルーティン終了時、犬がハンドラーの腕の中、背中、脚等の場合は、リングからの退場前に一度、犬を地面に降ろさなければならない。

失格について

次の各号に該当した場合、失格となる。

- ①申し込みと異なるハンドラーまたは出陳犬で出場した時。
 - ②審査員を欺こうとする行為があった時。
 - ③不正行為をした時。
 - ④ドーピング規則に従わなかった時。
 - ⑤リング内に食べ物やモチベーターを持ち込んだ時（例、玩具やクリッカー等）。
ただし、アトラクションにおいては、モチベーターの使用が可能な場合は除く。
 - ⑥出陳犬がコントロールできなくなり、リングを離れた時。
ただし、出陳犬がルーティン中に、誤ってリング外に出てしまった場合は、減点となる。
 - ⑦出陳犬がリング内で排泄した時。
 - ⑧ハンドラーが明らかにルーティンをトレーニングラウンドにした時（音楽は最後まで継続する）。
 - ⑨手荒なハンドリング（口頭または身体的）をした時。
 - ⑩会場内で、出陳犬が他の犬または人を攻撃した時。
 - ⑪出陳犬がルーティン中、リング内でリード着けていた時
 - ⑫リング外からのアシストがあった時。
 - ⑬抑制するために犬を触った時。ハンドラーから犬に触ることはできず、犬から行うものとする。
 - ⑭小道具やアクセサリーの準備及び撤去の合計時間が、3分間を超えた時。
 - ⑮音楽が4分15秒以上となった時。
 - ⑯ハンドラーの不適切な言動があった時。
 - ⑰ハンドラーが規則に従わない時。
 - ⑱リング内で犬が服を着ている時。
 - ⑲リング内で犬が首輪を2つ以上着けている時。
- 上記以外においても、規程の違反行為は失格に繋がる時がある。

表彰

- (1) クラス別に得点の順位によって1席～3席までを入賞とし、ロゼットを付与します。

その他

- (1)発情により欠席となった場合でも、出陳料のご返金はいたしませんので、予めご承知おきください。
- (2)会場であるドッグリゾートW o o f は、飲食物の持ち込みが禁止となっております。
- (3)会場であるドッグリゾートW o o f では、狂犬病予防接種証明書(コピー)、3種混合以上のワクチン接種証明書(コピー)を提示していただく場合がありますので、競技大会当日ご持参ください。